

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-191	高等学校	国語	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論国・104-901	増補新版 論理国語		

## 1. 編修の基本方針

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識・技能を培い、確かな国語力を育成する。
- 言葉の働きについて理解を深めるとともに、言葉を通して社会と関わる態度を養う。
- 論理的・批判的・創造的思考力と、他者との関わりの中かで自分の考えを深化させる力を伸ばす。
- 現代社会の諸問題に対する幅広い関心と、言語文化の担い手としての自覚を育む。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>第一章</b>		
■世界の適切な保存	・物事を真に「見る」とはどういうことかについて論じた評論により、真理を求める態度を養うことを意図した。(第1号)	12頁～17頁
芸術の普遍性	・芸術作品を鑑賞する喜びを論じた評論により、豊かな情操と創造性を培うことを意図した。(第1号・第2号) ・芸術の「自律性」は「近代」に確立したことを論じた評論により、幅広い知識と教養を身に付けることを意図した。(第1号)	18頁～33頁
未来へのまなざし	・「生きる意味を育むコミュニティー」の創造について述べた評論により、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことを意図した。(第3号) ・地球環境保全をテーマにした評論により、生命や自然を大切にする態度を養うことを意図した。(第4号)	34頁～53頁
言語と思考	・事物を抽象的にとらえる利点について述べた評論、言語と思考の関係について述べた評論により、幅広い知識と教養を身に付け真理を探究する態度を養うことを意図した。(第1号)	54頁～73頁
歴史と文明	・「近代」「科学・技術」について述べた評論により、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを意図した。(第1号)	74頁～93頁
メディアと大衆	・現代社会の仕組み・構造を「群衆」「スポーツ」などの観点で分析した評論により、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを意図した。(第1号)	94頁～111頁

人間の豊かさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「利他」「贈与」「所有」について述べた評論により、自他の敬愛と協力を重んずる態度、個人の価値を尊重する態度を養うことを意図した。(第2号・第3号)</li> </ul>	112 頁～131 頁
社会の枠組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境保全をテーマにした評論により、生命や自然を大切にすることを意図した。(第4号)</li> <li>・戦後日本社会の構造を分析し、近代的な自由の意味を問う評論により、正義と責任などを重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを意図した。(第3号)</li> </ul>	132 頁～163 頁
人間の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の「自由」を芸術作品と関連付けながら論じた評論により、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことを意図した。(第2号)</li> <li>・「友情」について文学作品と関連付けながら論じた評論により、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことを意図した。(第3号)</li> <li>・近代日本の文学作品を、作者の生きた明治という時代と関連付けながら論じた評論により、我が国の伝統と文化、および他国の伝統と文化をともに尊重する態度を養うことを意図した。(第5号)</li> </ul>	164 頁～251 頁
論述の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本文化における『いき』」「日本語の論理性」というテーマの評論により、我が国の伝統と文化、および他国の伝統と文化をともに尊重する態度を養うことを意図した。(第5号)</li> <li>・現代社会の仕組み・構造を「安楽への隷属」という観点で分析した評論により、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを意図した。(第1号)</li> </ul>	252 頁～284 頁
<b>第二章</b>		
社会の中の言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学問と政治の関係を論じた評論により、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを意図した。(第5号)</li> <li>・「利害関心」の功罪と「正義」「寛容」の重要性を述べた評論により、正義と責任を重んじつつ、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを意図した。(第3号)</li> </ul>	286 頁～303 頁
情報社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会に生きること、また、認知科学が明らかにした生命システムについての評論により、文系・理系の枠にとらわれず、幅広い分野の知識と教養を身に付けることを意図した。(第1号)</li> </ul>	304 頁～323 頁
比較と考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設としての図書館のあり方について述べた評論により、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを意図した。(第3号)</li> <li>・私たちの「名前」と「アイデンティティ」について述べた文章により、個人の価値を尊重し、正義と責任を重んじる態度を養うことを意図した。(第2号・第3号)</li> </ul>	324 頁～357 頁
異文化との対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自文化を相対化して他文化を理解する重要性を訴える評論、言語の翻訳にとどまらない</li> </ul>	358 頁～383 頁

	「文化の翻訳」について、近代日本の文学作品と関連付けながら論じた評論により、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを意図した。(第5号)	
環境と人間	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境保全について論じた評論により、生命や自然を大切にすることを意図した。(第4号)</li> <li>「偶然」と「必然」を哲学的・神学的に分析した評論により、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを意図した。(第1号)</li> </ul>	384頁～409頁
思索の深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人間の意志や選択」についての評論により、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度、自主及び自律の精神を養うことを意図した。(第1号・第2号)</li> <li>「顔」を主題として精神と身体の間を問い直す評論により、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを意図した。(第1号)</li> <li>「無常」についての評論により、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛することができるようにした。(第5号)</li> </ul>	410頁～430頁
考えの表出	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働の意味を考察する評論により、自主・自律の精神を養うとともに、職業と生活との関連を重視し労働を重んずる態度を養うことを意図した。(第2号)</li> </ul>	431頁～441頁
実用の文章	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を分析して情報を整理する活動、レポートの内容・構成を考える活動により、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うこと、創造性を培うことができるようにした。(第1号・第2号)</li> </ul>	442頁～456頁
<b>表現編</b>		
社会的なテーマを設定し報告書を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果および自身の考えをまとめる活動を通して、知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるようにした。(第1号)</li> </ul>	458頁～463頁
実社会に関する文章を読み小論文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の考えを深めたり、適切に表現したりするための基本的な方法を身につけ、さまざまな事柄に対して主体的に取り組む態度を培うことができるようにした。(第2号)</li> </ul>	464頁～469頁
<b>資料編・見返し</b>		
表現キーワード	<ul style="list-style-type: none"> <li>「思考」「動作」「感情」「物事の様子」に関する複数の語を、各語の意味の違いに注意しながら確認することで、日本語表現の奥深さを実感し、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした。(第5号)</li> </ul>	470頁～479頁
評論キーワード・ズームアップ 評論テーマの理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に論理的文章・資料などで扱われるキーワードをまとめ、各テーマの背景知識について深く掘り下げて解説することで、抽象的かつ論理的な思考力を身につけ、自国および他国の文化・社会への理解を深められるようにした。(第1号・第5号)</li> </ul>	480頁～495頁
見返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>各題材に関連した資料などを通して、より学習の理解を深め、幅広い知識と教養を養えるようにした。(第1号)</li> </ul>	前見返し 後見返し

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 学校教育法第51条2号「一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること」を踏まえ、教材の読解にとどまらず、教材に関連したテーマの理解を深めたり、基本的な言語技術を確認したり、読書活動につなげたりできるようなコラム（「チェックポイント」「ズームアップ」「解説」）を随所に掲載した。
- 学校教育法第51条第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」を踏まえ、各教材末には、現代社会のさまざまな話題や問題を多角的な視点から考察できる設問や言語活動例を多数用意した。





2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容						該当箇所 [頁]	配当時数		
単元	教材	知識及び技能			思考力, 判断力, 表現力等				書く	読む	
		(1)	(2)	(3)	A 書くこと		B 読むこと				
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)			
芸術の普遍性	世界の適切な保存						オ	ア	12		1
	手の変幻						エ	ア	18		3
	【ズームアップ】芸術作品の「多面性」			ア					25		
	美の自律性						キ	オ	26		3
未来へのまなざし	【チェックポイント1】主張の明確化	ウ							33		
	「内的成長」社会へ						オ	イ	34		3
	【チェックポイント2】定義と抽象化	ア・イ							41		
	【ズームアップ】資本主義社会と本当の「豊かさ」			ア					42		
	未来世代への責任						カ	イ	44		3
言語と思考	【ズームアップ】地球環境問題			ア					50		
	【チェックポイント3】文体と構成	エ							52		
	「具体」から「抽象」へ						キ	ア	54		3
	言語は思考を決定するのか						ア	オ	62		3
	【ズームアップ】言語の音			ア					71		
歴史と文明	【チェックポイント4】語彙	ア・イ							72		
	【チェックポイント5】因果関係と論拠		ア						73		
	(近代)の入口と出口の間	ア・イ	ア・イ・ウ				ウ・オ	イ	74		3
	科学・技術の歴史の中での社会						エ	イ	84		3
	【ズームアップ】近代科学の功罪			ア					93		
メディアと大衆	擬似群衆の時代						ア	ア	94		3
	消費されるスポーツ						ア・イ	イ	102		3
人間の豊かさ	利他とは何か						カ	イ	112		3
	【ズームアップ】「自由からの逃走」?			ア					121		
	手放すということ						ウ	イ	122		3
社会の枠組み	【チェックポイント6】情報の視覚化		イ				オ	オ	132		3
	「である」と「すること」						ア・イ	イ	144		4
	【ズームアップ】「近代」とは何か?			ア					162		
	野生の「クジラ」と人間の「鯨」								142		
人間の可能性	可能性の溢れを生きる						ア・キ	イ	164		3
	「友情」と「悔恨」の文学				エ	ウ			174		4
	漱石の多様性				ア	エ			199		4
	【言語活動の実践】論文を書こう				ア・オ・カ	イ			248		5
論述の方法	「いき」の美学	ウ	イ		イ・エ	エ			252		4
	日本語は非論理的か				オ・カ	イ			260		4
	【探究の扉】日本的論理				エ	ウ			267		1
	「安楽」への全体主義	イ	ア		ア・ウ	エ			270		4
	【ズームアップ】大衆消費社会			ア					282		
	【チェックポイント7】仮説と検証		ウ						284		
社会の中の言葉	学問の政治性						イ・エ	ウ	286		3
	関心を持つのはよいことか						オ・キ	オ	294		3
	【チェックポイント8】主張とその前提		ア						303		
情報社会と私たち	「自己デザイン」と「自己消費」						オ	ア	304		3
	【ズームアップ】情報社会と(私)			ア					313		
	生命の知性	ア・イ	ウ				オ	ア	314		3
	【ズームアップ】世界は一つではないー「環世界」についてー			ア					323		
比較と考察	人と共にある図書館の未来は明るい						ウ・キ	エ	324		1
	図書館と「ものがたり」						ウ・キ	エ	328		1
	【チェックポイント9】多面的な視点		ア・ウ						332		
	個性とは何か				ウ	ウ			336		2
	他者の靴を履く				ウ	ウ			340		2
異文化との対話	【言語活動の実践】情報を整理して考察しよう				ア・イ	ア			356		5
	「文化が違う」とは何を意味するのか?						カ	オ	358		3
	【ズームアップ】文化相対主義			ア					366		
	「文化の翻訳」と森鷗外						カ	エ	368		3
	【探究の扉】父の鷗外						カ	エ	378		1
環境と人間	【ズームアップ】近代科学とAI			ア			ア・カ	オ	384		3
	環境と心の問題						ア	ア	392		
	エコロジーのミューズを求めて						ア	ア	394		3
	偶然とは何か						カ	ア	401		3
思索の深化	意志と選択	ウ	ア				カ	ア	410		4
	顔の所有						ア	ア	417		4
	【ズームアップ】「精神」と「身体」は分離できない			ア					424		
	無常ということ						ア	ア	425		4
考えの表出	人はなぜ働かなくてはならないのか				イ・エ	ウ			431		4
	資料を分析して情報を整理する		イ		イ	ア			442		3
	レポートの内容・構成を考える				イ・オ	イ			450		3
表現編・資料編	社会的なテーマを設定し報告書を書く	エ			イ・オ・カ	イ			458		3
	実社会に関する文章を読み小論文を書く	エ			ウ・オ・カ	ウ			464		3
	表現キーワード	ア・イ							470		

	評論キーワード	ア・イ							480		
	ズームアップ 評論テーマの理解を深める			ア					488		
前見返し・後見返し	現代はどのような時代か？			ア					①②⑤⑥		
配当時数合計		A 書くこと								51	
		B 読むこと									89
		合計									140